



原火暴のことはしていただければもうと
くわしくしれたのでよかったです。

原火暴でたくさんの人たちが建物
外への原火暴で消えてしまったことが
とてもおどろきました。

昔の原火暴と今の原火暴とでは
昔は建物の中へもあつたのに。

今は、骨組みとコンクリートしかないこ
とに気づきました。

原火暴の威力に あつた人
たちは、かげがかげかをしてはたかには
かえりませんでした。

それがのようになっていたり川に
とびこんでなくなつてしまつた人かたもこ
いて原火暴のあつたさかよくわかり
ました。

原火暴のせい、町外までかえりまわ
りかえり灰色になつていてとても
しりました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

五年生のころに習った「たすねびと」ではちょっとしか学ばなかったけど今回、動画を見せてもらったり、実際にお話を聞いて去年より原爆についてよりくわしく知ることができました。玉球がいかに約7000℃で太陽の表面の温度より、1000℃高いものかおちてきたり、3つの「熱線」「衝撃波」「放射線」や原爆空など初めて聞いたものや知ったことがたくさんあってすごく勉強になりました。そして原爆がとうかされ、広島市では死亡率40%、約5人に1人が永眠されているときいてふだんあまり耳にとどかない命の大切さ、重さなどについて、しっかりと頭にも取り入れ、考えることができました。今回原爆先生に特別授業を受けさせてもらってほぼ全て知らなかったことが知れたり、命の大切さ、そして原爆がどれほどのものだったかなどたくさん教えてもらい知れてよかったです。



昔に原火暴があつたのは知つたけれど、
内容が一つも分かつたことがありません。でも
今回の授業で広島のことについて打
ちあつたんだ。など初めて知ること
がいっぱひありました。原火暴ト
ーや資料館などにいって見てもと
いろんなことも知りたいたいと思
いました。だから昔のことだから自分
たちには関係ないんじゃないかとこれか
らいろんな世に昔にはこういうことが
あつたよと伝えていくのが大事だと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて、上空600mに作られた火球の中心が100万もあり、表面も太陽の表面6000℃よりも1000℃高い7000℃もあったことを知り、この特別授業でいちばみおどろきました。その周辺も3000℃にも達したこともおどろきました。そして、衝撃波の速さもすぐにおどろきました。秒速440mと知る前は大体秒速100mぐらいだと予想していたけど、大外れの秒速440mという速さでした。音速をこえる速さなのがおどろきました。広島市の人口35万人に対し14万人も死亡してしまい、死亡率も40%もかなり高めでした。他にも、原子爆弾投下都市条件や、原爆の名前「リトルボーイ」を聞き、7000℃の少年の意味も分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

思ふな事が実際に起きていたのがきょうに
した。あんな戦争は糸色文才に現代にはあつては
いけないなと思いました。もしやってしまったら
また、19才から19才ぐらゐまでの人々をおこな
たり、日本がこおされたりしてしまふからでも
かあかいはかたてしまっているのがとてもみさんで
した。やりたいたからやってみるわけじゃないのに、
死んでしまったりそんなこうけいを二度とた
したくないでも本当に起きたから、しっかりと理解
もできたかなと思いました。たくさんひげきは
あつたけれど、それをかみはうてのりこえた日
本人はすごいなと思いました。また、原爆資料館
などといったことがないので機会があつたらしく
てみたいですね。こあつたりもしたけれど、実、さ
いの人の方がもっと悲しくてこあつたのかなと思
いました。あんなに楽しくない時は楽しいものと思
っていたけれど、本当はほくかあ、ていた100倍す
かたてです。その当時の人はどのように生活し、生
ていたのか少し気になりました。自学などで調べたいです。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

前半の動画を見て、自分達が生まれる前には、こんなのが起きていたのは知っていたけど、くわしくは知らなかったのて、外国の方が原子爆弾をかいはずし、爆弾もおとしていたと初めて知りました。爆弾をおとす時候備になった都市があると知り、おどろきました。

原爆の「リトル・ボーイ」が約4tあると分かり、重いんだなと思いました。

原子爆弾投下都市の条件が直径5kmを超えることや平野であることなどを知りました。原爆チームとなる

前は「広島県産業奨励館」という名前だと初めて知り、昔はこういう名前だったん

だと思いました。原爆を投下された後は、原爆チームになったと聞き、少しおどろきました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆先生のいりよくが、思っているよりも強かった
のでおどろきました。

はくはつした近くの人のかげがしみになるん
だなぁと思いました。

はくはつした最ネカにできた200mぐらいのき
うたいの中心が100万ほど太およりもあつとき
いてすごいおどろきました



原爆先生の特別授業を受講して

表

→世田さんの言葉を聞いてとくにおどろいた
ことも書きます。

1つめは関東平野にたつた都南がらう むるくと
と京都がーも むるくかく リフ がー高かったのに
なんで広島と長崎になつたのたうて思つて
京都がじかーされた理由をきいていた
日本人は外国にたとてとてもじやうような
文化風になつてゐて、こうけきはむけ
と、そういうところは、きえてゐるんだな
と感しました。

たので原はく世帯をなとこい3め子た人の
ためになつたのはいいとあらためて感
しました



原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は原爆先生に来ていたのだと思、たことは
今の私には想像がつかないほど悲小参な現
場だったんだと思う。むねが痛くなりました。
いつも通りの毎日だと思、していたら急に原爆が
落ちてくる恐怖布が話を聞ただけなのにゾワッと感ぜ
てその場にいた方たちはもっともっともと私と比に
ならないほどの恐怖布だったんだと思うました。
そして原爆ドームの再現された人形を見てふいげえ...と思、たのに お父様 が「人なに生かざしめむかなり」と言っ
いたのを聞いてもういさめちむねが痛大かっ
たです、
今日は、とても勉強になったし、景色対に忘
れてはいけな事件だとなと再確認できま
した。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

自分は今日の原爆先生の話を聞いて
原爆を落さずにすんだんじゃないかと
思いました。原爆を落さなかったら、
多くの人たちは生きられますし、他の国
との問題にもなりません。だから自分
はこれからの中、争いはせず話し合
いで解決できるように、なっていってほ
しいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

げんばくドームの名前がかわって
げんしばくだんをよとされる前は
べっの前だったのがまぐりしよした

げんしばくだんの重さが4+なのもまどろきま
した。飛行機に4+の物の入れ方などが
きたりまし、4+以上もまろきに入れた
たのにとてまうい、まろきの はなむかき
なりました。

げんばくについてくめくはらなまてなるとな
かしろなまだけとげんばく先生のおかげで
わかりやすくていねいにおそえてよくか
いてきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原爆先生の話は、
具体的に分かりやすかったので、
映像もあって分かりやすく、こんな
ことがあったなんておどろきました。
爆弾の温度が表面7000℃、中
100万℃なのもおどろきました。
今日聞いた話をもこれから活かしてい
きたいと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆はとてもひかいか大きく、たくさん
の人が「せいにな」と分かった。原爆が落
ちた日の広島は、田舎とは思えないほど
何にもなかった。また、爆心地点の近くにい
た人たちは、ひいなどか、とれたり、全身が
やけどするなど、想像できない。爆発した
音のしやうけは、音速よりも速いことに
びっくりした。広島市の人口は35万人で、被
爆者数が24万人、死者が14万人で、死
亡率が40%だといふことが信じられない。
動画を見ているだけでは、こわかったし、もし
東京も原爆したと思うと、ふるえがとま
らない。池田よし三さんは実際に体験し
て、生きているのか、すごい。被爆者や死者
を運んでいると、とてもこわかった。
うしろ、つらか、と思はれて、それをやけどがた
り、はじめて、人けい、地球。現在、原爆を受けた
人はとても少ないから、自分たちは、みんな
昔の日本は、ことなことが、あたと伝えてい



原爆先生の特別授業を受講して

表

12/19 (火)

今日この話をきいて升て、やはり戦争はつらいもの
だと感じました。なんの罪もない広島県民が次
々と亡くな。ていくのは悲しいと思いました。その
他にも皮膚が焼けただれてしまっている人の腕
をさわった義三さんは、当時は声が出ないほどおど
ろいていたと思います。私は絵でもしょうげきを
受けたのに、義三さんは実際に体験しているの
で、とてもすごいと思いました。最後の動画で
義三さんが泣いてしまうのも当然です。原爆は
防ぎようがないからどうすることもできなかった
ので、悲しくてもあたりまえです。原爆では子ども
もいます。そのことを考えると、また「続くはずだ」
た命が、一瞬で消えさ、てしまったということだ
す。それはとても良くなことです。だから、この原
爆のことを知れて本当によかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

今回原爆先生の話を聞いてゆ、ちや
こわかったし日本はなぜ体当たり
のまうけきをしたんだろーと思った。その当時
の日本にも事情はあったかもしれない
けど戦争というのは関係のない
い、は人にも被害がおよぶから
戦争というのはおこして、ためたな
と思った。あと原爆が100万と聞いてびっくり
しました、100万となんて言ったら、びっくりする
のはもちろんだねかもしれない。こんな
原爆がなくなればいいのになーと思った。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

今回けんはく先生のじゅきょうをして、えいそう
を見たり、話を聞いたりして原爆のことがよ
く知れだし、ゆさか分かりました。

いままでは原爆ドームのことは知、ては、な
けど、こんなにもじゅうたいだとは思わな
ったからとてもびっくりしました。

これからもっと原爆ドームの
ことを知りたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆のこあさや題名の7000°の少年が
リトルボーイたという事とも知られてとて
よかったです。また、原爆異が"という
ものなのかなと"すごしていき



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆先生の特別授業をうけて、たったつの
原爆で死者が14万人出て、いっしょにし
て全滅やけ、すごくざんこくだとおもった
けど、現実にはもっとつらいのだなとおも
いました。

600mはなれていても3000℃の高温で、
しょうげきは、毎秒440mと、改めて、
原爆はこわいと思いました。

原爆くもも、とても、すごくこわいと思いま
した。

こうして、今も伝えられてきたことを私たちに
は、体けんしていいけど少しの人たちに
でも伝えられようようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の説明はとても分かりやすく
よく理解できました。7000℃の少年の意味
も分かりました。資料18を見て14万も死んだ
んだなと思いました。他にも候補に京
都があった事を知ってとてもおどろきま
した。ひばく者の様子は少しあつたけ
ど当事りのことが分かりました。今回は授業を
していただいてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

最初の映像はかわいそうだな・こわいな
と思う感覚で見えていたが、原爆
による被爆地の規模の大きさと、原
爆の温度の高さや雲の大きさ、衝撃波の
速さを教えてもらった後に同じ原爆の映
像を見たら、あの時教えてもらったやつ
はこれなんだなと思ったりして同じ映
像を見ていても違う映像を見ているよ
うに見えました。そして、原爆の資料館
においてあるものは、どれもしょうもない
な物ばかりだと思っていますが、それで
もまた優しい方だと知ってとてもびく
りました。私たちは原爆を経験し
たことはありませんが原爆のことを伝え
ていくことが大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生のはなしをきかかったことは
リトルボーイはともつと火カがすご
い。そのあつたじゅうぶんがすごくてわけ
どしたな。私たちをたすけようとしても
かわがかんたんにはなすたりした
こともわかりました。そのつらいことがつ
づいてるとメンタルがもたないのに、お
しなれるように、おともなうように、いざ
(土の中心)はこうきかたなることもわかり
ました。しけむりがくもになり、げんかいまど
いし。しけむりがたいへんになり、キノコのかたち
になり、まうしゃをたて、おかしなふう、というこ
ともわかりました。原爆、おとせぬのはなし
をきけて、いろいろわかりました。よし、こ
えん、のつらいことがあったこともできました。
リトルボーイのばし、おまよいは11kmまで
もとへ、行くことがわかりました。



原爆先生の話を通して、
原爆のひさんさや、まごさが
お話から伝わり、
今まで少なからず知っていた原爆の
情勢なりにも話の理解が深め
られました。
また、原作ともなった
「ヒロシマの9日間」を読んで、
しっかりと時間をかけて
原爆のあましを忘れぬよう
覚えていきたいと思います。
そして、広島に行くまがいがあれば
何さになっても、
しりょうかんには足をはこんで
みたいと思います。
今回原爆先生がお話してく
ださったことを忘れぬよう
心にきざんでいきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の原爆暴の話をきいて昔の広島島のじ
うきょうがわか。たしどんくういかこく。て
いうこともわかってとてもきちょうな時間
な。てうけい。自分はいけけんをした
ことがな。たしきわりの大人やおじいちゃん
など。もまだ生まれていなか。たから。ざいに
いけけんをした人の言をが。どうて見て
原爆暴の所。に。いても。とも。とくわしく
知りた。い。な。と。おも。い。ました。それをあ母
さんに。話。した。ら。あ母さん。が。い。ちやうど
気。な。な。て。いた。の。こ。と。た。た。の。で。す。し
話。を。した。ら。あかあさん。も。き。やう。み。し。ん。し。ん
に。な。て。い。て。い。し。よ。に。い。こ。う。と。言。を。て。し。て
い。ま。した。そ。し。て。ま。だ。け。ん。じ。つ。に。原。爆。暴
の。う。た。れた。場。所。に。い。て。み。た。い。と。おも
い。ま。した。



原爆先生の特別授業を受講して

表

12/10

私は、この特別授業を受けて原爆の怖さや人々を助けるための
努力を学びました。私は、原爆が600メートルのじてんで3000℃
というのを聞いて原爆は怖い・危険と言うのを聞いて「発のばくだ
んで死亡率40%」と言のめりました。また、自分もまきこ
まれるかもしれないのに何回無理でも助けようとしてい
る池田さんたちはすごいと思いました。そして、人が「生き
ているあたたかさやたくなった人とのちがいをしりあがため
てこの特別授業の意味を学びました。



12/10

げんはく先生の話をきいて
わたしは、げんはくのおそろ
しさやせん争をしてわいけないと
いうことをよくしれてよか、たで
す。

37000000



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原はく先生のはなしをきいて思ったことは、けんはくか^か思っていたいじょうにわかったことす^たたりそうぞうじんじょう思^いたよりあ^ありなかつたことす。あと、系会ぞうか^かすく^くリアルして^てにわかったけん^{けん}と、原はくはあ^あがきと^とき^きはみていたい上ににわかったのかなと思^いいます。

ねっせんの速さか音速か^かまこえる速さよりはやいことと、ほうしゃねっせんの強さはあと^とうきました。あとけんはくどーむか^かすごく^くさく^くすいて、いました。でも原はくか^か起きる前は、すこい^いき^きいでした。

1回目のけんはくかんか^かまたあと2秒^{びょう}ぶにまたき^きてとまいて^てア^アく^くい^いく^くりました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆先生の話をきき原爆でなくなった
人の多さや爆だんのあつさといったいろいろ
なげいんでなくなってる人が"怖い"とい
ふくらい。ねっせんや"おしゃげ"きはなど"で"かなり
ず"人が"死ぬ"いっててもいいよ"おそろ
しい"とした。しくに死亡率400%ときき
ほぼちだから外国の人のさついか"
わかった。

ねっせんは100万度17000度といった
太陽が"6000度なの"にたいしてそれよりも
はるかにたかい"は"を600mからあびる
とゆう自分が"かりにこのじょうきょうになた
ら"とてもおそろしいとおもった。
こいうじょうほうを次の子たちにみ
せたいとあらいをよびかけた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受講して、前も、国語のたずね
びなど、原爆のことはある程度知って
いたけど、今日の授業で原子爆だんが本当
にこわいものなんだなと思いました。太
陽の表面温度よりも、熱いものが降ってくるの
は正直、想像できないけど、あつさでせくな
てしまった方は苦しかただろうなと思います。
正直、原爆のこわさは全然、実感がわかなか
って申し訳ないけど、池田義三さんの映像
を見て、話すことも思い出してつらくな
る話までに時間が少しかかったり、泣き
そうになっていたのを見て、本当に、遺
体の回収や、原爆の記憶がそう絶た
れたんだなと思いました。しゃべってくれた
池田まさのりさんの話し方で、義三さんが
どんなおもいだったのか、少しは分かったと思
いました。今更知ってもどうにも出来ないけど、
被爆者や当時をばってくれた方々のことを忘
れないために覚えておきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/16

池田さんの話を聞いて、原爆について
くわしく知れたし、原爆の怖さについ
てもよく分かりました。

最初の資料に「7000℃の少年」書いて
あって、最初はなんのことか分から
なかったけど、授業を受けていくこと
に、7000℃は、原爆の熱さをしめ
ていて、少年は広島に投下した原爆
「リトルボーイ」を体に入れたその少年
や、小さな男の子という意味だと説明
された時、始めて意味が分かりずこし
こわかったです。

これから原爆について、わたり
ついでいかなーいといけなーと
思いました。



原はく先生の話を聞いて原はくのおそろしさがよくわかりました。はなしの中にでてきた絵などかひじょうにリアルでこわかったけどそれさえも生々しいものときいておどろきました。また原はくのあせんやしょうけきはあの速さが音速よりはかにこともほうしねんせんの強さにあどろきました。とれたけひさんであいさくくこきけんなことがわかったのかちよくわかりました。そこで昔のほかにも軍隊のたけけんな死体はよりなごにもあどろきました。

私は今回のおくべっじゅうをうけとあどろきとたくさん知しをえました。なのでこの言をたれかに伝えたりしてこの原はくのことや戦争のことをおすれなように



原爆先生の特別授業を受講して

表

自分は原爆先生の話を聞いて、色々なちきととに
ふくざつな気持ちになりました。

そして一番しゅうげきしたのは、原爆が7000℃もある
ことがよくしゅうげきしてした。なぜなら、

自分は原爆はあちた地戸所が深くおなができて、
じしんがおこるのかなとまもっていたからです。
でもこのお話を聞いて、あついと感じる前に亡くなっ
たかたや、じんじょうじな痛みにたえながら助け
を求める人々が原爆によって亡くなったって
いうことは、一番しゅうげきより、はるかになくと
もいえない感傷になりました。

ちなみに「8月6日」という本を自分はよんだこと
があって、なぜそれを読んだことがあるかと言うと、
自分のたんじょうびが8月6日だからたからたからです
それからかいようを見て広島原爆に興味をもち
けど、そんな本はなまぬいといしか言えないのだろ
うと原爆先生のひさしなお話を聞いて
思いました、自分は広島原爆についてもっと
矢張りたから7000℃の少年を知りたいからいっている。



ぼくはこの原火暴先生について学んで
原し火暴たんは ぼくがそうぞうに
いた以上に ぼく発のい力が強
く、ぼくたんが広島にはくはつる
重力面を見て、ぼくはすやぐこおい
という感情のまま見ていました。
そしてぼくは原しはくだんの話を
聞いてびっくりしたことは、ぼくだん
の表面のおんどが7000℃という
太陽よりも暑いおんどで、ぼく発
するということが、とてもびっくり
しました。ぼくはこのじゅぎょうで
この原しはくだんを大馬鹿にした人たち
は、本当につらかったり、こおい思いを
したんだなということが感じら
れました。



原爆先生の話聞いて、最初に「7000℃の少年」と聞いて、なにがそんな名前なのか分からなかったです。まず、重油画を見て、最初はすごくびっくりで、正直怖かったです。でも、どんなことが広島におこったかは、理解できました。

また、説明もしてくれて、アメリカで原子爆弾が出たことや、候補になった都市などを分かりやすく説明してくれました。ぼくは新潟出身なので、正直、原爆が落とされなくて良かったと思いました。

リトルボーイについても学び、先生は小さいと言っていたけれど、ぼくは大きいと思いました。

また、太陽より熱く大きいので、そうとうないやうだと思いました。また、しょうげきはの速さが音の速さより速さより速くてすごくおどろきました。

原爆ドームのものの姿が見たとき、半分しか残っていないのがすごくおどろきました。

このようなことを学習して、ぜひ原爆地に行こ



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原子爆弾のこわさがわかりました。
原爆先生の説明が上手で、もと
もとこわいと思っていた原爆が、
よりこわいものになりました。

原爆ドームも半分以上なくなって
いてびっくりしました。私は、原爆を
おとした飛行機が一ヶけんめい
そこからにげたのにしょうけき波が
はねかえってまたことにしょうけきを
受けました。絶対、け、こう遠くまで
いったはずなのに「しょうけき波が」
「たわってきた。」とわいていてものすごく
つよい原子爆だんだんだったんだなと
思いました。

私は昔にこんなことがあったことを
わすれずに、生きています。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

最初この題名(7000℃の少年)の意味などがあまりわからなかったけど「7000℃」というのは、原爆のまわりのあつさで「少年」というのは原爆の名前(ワルボーイ)のことも表しているんじゃないかなと思いました。また原爆のあつさが太陽の表面よりあつかったことにもおどろきました。

そしてよく見る爆発などをした日時になる雲の形は、雲にもけんかい線があるから上から平らになるということもわかりました。原爆ドームの爆発前と爆発後でのちがいがまたぜんぜんちがうなと思いました。

また、来てくれた先生のしゃべり方やふりつけもしっかりしていて、聞きやすい・わかりやすいなと思いました。この授業で学んだことはできるだけ忘れないようにしたいなと思います。世界の人々が、安全・安心にすごせる社会になるとよりいいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅぎょう

表

原爆先生のお話をきいて私が思っていた
倍以上原爆は怖くていやなことだなと
思いました。じっさいにみかいいにあった人な
どを考えるとすごく怖かったんだなと
思います。池田さんは話している時に
思い出して泣いていたし、考えるだけで
なみだをながすのはとても辛い実験を
したからなんだなと思いました。私はその
原爆にあったことはいけど、今ふたり
かきこえるくらいでとても怖いならみか
いにあるで家ごとを壊した人だっているし
みかいいにあるで辛い思いもした人はも
っと怖くて辛い思いをしたと思っ
ます。たがらこそ私はこのじゅぎょうを
してみかいいにある人よりももっと長
く生きようと思いました。よしぎょうさん
の手紙にも長く生きようとかいてあるで、
とても心にみかきました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原子爆弾について改めて矢張り、分かった事は、核戦争を二度と起さない事と、三つの脅威について受講しました。

思った事は、広島市に信じていたみなさんの悲しみ、こがよく分かり、生き残った日本兵さんたちの苦しきなどの話を聞き、本気のこが、わかってきました。原子爆弾を落とされたB-29の搭乗員のみなさん、其会はないのでせぬようにしようと思いました。

もしも核爆弾が直撃した時、ため、防ぎ、グッツ、をそろえたり、突が無い、部屋に逃げ、避難を、保つなどをしようと思いました。

ほくは、二度と核戦争を起ささないため、他国の人たちを差別したりなどをして、したいと思いました。

核だけではなく、チェルノブイリ原発事故や、福島第一原発事故などといった原発事故なども起さないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話をして私は、最初ぜんぜん興味なかったけど、すこし興味をもちました。一番びっくりしたのは爆だんが太陽より1000℃高いというのがとてびっくりしました。そして7つがとけるのは1500℃爆だん7つでつなぐ簡単にとけてしまうのがちょ、とこわかったです。さらに気になったことはげん火爆雲です。げん火爆雲はただのちょ、とこわ、た形のくもだと思っていました。こわ、ちがいました。げん火くもは、7、ペん火、たいうになっているのとさのこみ、たいうの形、な、ているところをすごいなと思いました。

私は最初興味なかったけど、げん火く先生をきいただけなのにこんなに興味をもち、自分でびっくりしています。おはなしだけで人に興味をもたせる先生はすごいと思います。こわ、ちうも、もっとげん火くについて知りたいと思います。



原はく先生のはなしをきいて思ったことは、
せんそうがとてつらいことです。
ひがいを愛けた人も人を助ける人々がい
へんだと思いました。おムかいばんしょう
けきをうけたことは、原子はくだんが7000℃
ということですね。太陽の温度が6000℃な
のに原はくのほうが1000℃高いなんて思いも
しませんでした。あと人の心がとけて人間じや
ないみたいになるということもしょうけきを
うけました。

原はく先生のはなしをきいて人の命の大
きさや仲間と協力し、助ける大き
さも調ねました。

今では、単にそうやばくだんをいつも
生活してる中でおちてきたり、こうけき
さめたり、することは、ないから毎日1日
1日を大きかに生きていこうと思いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原火暴先生の言葉をきいて、前はんの動
画や先生の言葉をきいて、原火暴は、とてもお
そろしく、こわい目や痛い目にあっている人がた
くさんいるんだなとおもいました。広島市
人口が35万人、死者数は、14万人、死亡率40%
だからほとんどの人が原火暴で死亡し
たから原火暴は、とてもおそろしいと
おもいました。

木々が1ばらおどろいたことは、太
陽は6000℃なのに、原火暴は7000℃
だということをおどろきました。

原火暴ぐもは、そうにしてげんばくぐも
の上は、たいさうだとははじめてきいたので
げんばくぐもについてしめてよか。た
です。

げんばく先生の話をきいて、せんそ
うや、げんばくは、とてもこわいとおも
いました。たけどげんばく先生の言葉は、
おぼえようとおもいました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

広島の原爆の話も初めて聞いて1回目に
えいぞうもオタときと2回目にえいぞう
を見たとき1回目はよくわからなかったけれど
なにがおこっているかわからなかった

2回目はどんなことがおこったのかが分かって
いるからさらにおもしろかった。

長崎の原爆のしりょうかんには行ったことが
あってそのときはくわしくなかったけれど
う見かたもかわると思いました。

授業ではけっこうやさしく絵になっていたけれど
じいさんはもっといさんでくろかったんだと
思うとぞっとします

私は原爆はなにかにあたってからばくは
ふするおこったけれど600m じょうどう
でばくはふもあってしてびっくりしました
たいようよりあついていたおれでもそうぞう
がつかまらなかった



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて思、
事は、原爆のおそろしさを。
最初は普通の爆たんだと思っ
ていたけど、広島に投下された「リトル
ボーイ」は3m、4tもの重さで、中心は
100万℃、外がゆは7000℃の温
度で太陽より暑くなるおそろしさを。
原爆先生の父親が話している時と動画
を見ている時口をとて悲しか、下す。
もう過2の事たから変えることは
下すな、けれど私も伝えているた
い下す。他に広島の人口が35万人だった
のに亡くなってしまった人が14
万人もいた5人に2人が死ん
でしまったのがとても悲しか、下
す。それとげん爆ドローンの事
もよく知りました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

原爆先生の話を聞いて、原爆が思ってたより、こわくて、とてもおそろしい事なんだなと改めて思いました。原爆を落しす一番のころは京都だ。た事をした時、すごくおどろきました。広島に投下された原はくの名前が「リトルボーイ」というのを初めて知りました。「リトルボーイ」の名前の由来は、小さな子供、少年の事さす意味だ。たそうです。原はくは、ちや。下で3000℃でつかしているおんど。原はくがおちてきゅうたいが出来る。しては、がいしゅうで、7000℃、中心は、100万℃というちや。くあいいおんどね。ふうがおそ。しくるし考えたらとてもこわいです。げんはくは、ね。せん、しやうげこは、ほうしや。能があつて、しやうげこはしは、音速を上回る速さでおちてくる。しててげんはくは、こわいし。広島原はくをわがわとしやいけなない事なんだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆のおそろしさがよくわかりました。

原爆先生の話しで死人をもちあげるかんはくや真っ黒のきずだらけの人々を考える・そう思うだけで泣きそうになってじんじょうもやうたつたのかなんとなく分りました。

広島平和記念資料館をネットで調べて画像見たけどあれでもきれいなものかと思ひました。

服はボロボロ・かみはぐらぐらぐら・手からは液体かながれれていても
当時は、これよりもひどいじょうたいだったのかとおどろきました。

私たちが出来ることは、戦争をなくさないではなく、次の世代に原爆のいさをつたえることだと感じました、
今回なうったこと

被爆再現の

生
優
美
い



原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の原爆の特別授業で知
た事は、原爆は、おそろい物と
りうりうすごくたいへんな物だった
と思います。そのりうりは、ふつ
は「しりょうがん」にしたりしない
し、ぎゃくにしりょうするほどた
いへんな事だったと思いま
す。資料にこてがたりつけれ
ないけないたいへんな事
だったとしばらくは、思います。そし
ておもしろかった事は、原爆
は下についてからはくはっ
すると思っていたのに、600mか
らばくはつしていて、あのいけ
んが来るのは、すごくこわい
です。そして、7000°の少
年とりうりみもかかりました
原爆 → 7000°
名前 → リトルボーイ



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の特別授業を受けて、今までよりはるかに原爆が単戈争のひさんさか分かりました。今までには、1945年8月6日に広島と、8月8日に長崎へ原爆が落ちたことしか分かりませんでした。ですが、昨日の特別授業で、ここへ落ちたのが、原爆の名前が、当日寺の人々の気持ちなど、がよく分かりました。池田義三さんが、原爆ドームで、全壊いすゑると言った理由は、当日寺の物より、はるかに、易しい物だった物だから、と僕は思いました。僕は、原爆が7000人もある事は知りませんでした。これにより、死者数は、14万人もお世いになりました。僕たちは、ただこの事を矢口たけいではなく、これを後世に伝えていかなければならないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/10

原爆先生の話を聞いて 原爆についてし
りました。最初 料 7000℃の少年と書い
ていておどろきました。原爆先生の話を
聞いてうちに太陽の温度より1000
℃あついとしておどろきました。
あとしょうけき波の速さが音速
よりもはやくのもらておどろきま
した。原しばくたんで広しまにすん
でいた5人に1人なくなるときいて
おどろはたしひばく者数が24万
人というのもおどろきました。